

凡事徹底・活力・環境

五小だより

<http://5s.hvama.andteacher.jp>

令和 6年 4月 8日

No.1

東大和市立第五小学校

TEL (042) 562-1981

FAX (042) 590-7022

アウトプット

～新たな五小のスタート～

OUTPUT

校長 平松 新太郎

令和6年度が始まりました。お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。今年は72名の新1年生を迎え、合計465名（令和6年4月1日現在）でのスタートとなります。

私は、今年度より加藤進校長のあとを受け、五小の副校長から校長として昇任いたしました、平松新太郎です。保護者、地域の皆様には、昨年度同様、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

本校の学校教育目標は ○考える子 ○仲よくできる子 ○やりぬく子 です。

学校教育目標に対する、目指す児童像は次の通りです。

○考える子〔学力の育成〕

基礎・基本を基に、自ら課題を見付け、自ら考え、解決する資質・能力を身に付け、多様な考えを理解し、学び合い、自らの思いを表現できる児童。

○仲よくできる子〔豊かな心の育成〕

教師や友達と学ぶ中で、他人の喜びや幸せ、苦しさや痛みを理解し、分かち合い、助け合いながら責任を果たすことのできる児童。

○やりぬく子〔健康な体と心の育成〕

進んで行動し、自分も友達も大切にしながら互いを認め合い、前向きに努力する児童。

キーワードである『自らの思いを表現』『責任を果たす』『認め合い、前向きに努力する』ことの実現に向け、今年度は、学校・保護者・地域が連携して、児童に『**アウトプットする力**』を育みたいと考えます。学校生活は他者との関わりの連続です。そこには、『何かを生み出したり発信したりする=アウトプット』する場面が数多く存在します。児童一人一人の成長過程に応じたアウトプットができるよう環境を整えていきます。

アウトプットする力が向上することのメリットとして、例えば

- ① 学んだことが記憶に残りやすくなる
- ② 理解を深める
- ③ コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上

等があげられます。令和6年度が始まるにあたり、まずは、子供たちが学校での様子をご家庭で話したり、授業中に発言の機会を多く設けたりできる環境を整えていきたいと思っております。

保護者会や今後の学校だより、また本校ホームページでも、今年度はアウトプットを柱として話を進めていきます。年度末、このアウトプットという言葉 키워ドに、改めて一年間のまとめをします。

一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。